

都支部様式第35号

(第三者交通事故用)

念 書

令和〇年〇月〇日

地方公務員災害補償基金

東京都支部長 殿

住 所 東京都〇〇区〇〇〇7-8-9

氏 名 三林 次郎 (自署又は押印)

当事者(乙)との関係 ( 運行供用者 )

私は、下記事故により甲(及び甲の遺族)に生じた損害につき賠償の義務のあることを認め、当該事故により貴基金が地方公務員災害補償法に基づき甲(あるいは甲の遺族)に対して補償を行った場合には、同法第59条に基づき貴基金の取得した損害賠償請求権の価額の限度において、貴基金からの請求により支払うことを誓約します。

記

当事者	甲	住所	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇
		氏名	新宿 三郎
	乙	住所	東京都〇〇区〇〇町3-4-5
		氏名	三田 太郎
事故発生日時		令和5年8月2日午後6時00分頃	
事故発生場所		東京都〇〇市〇〇町2-3-4先交差点	
事故発生の状況		上記日時場所において、信号機のある交差点の横断歩道上を自転車を押して直進していた甲と、右折をしていた乙が運転する乗用車が衝突したものの。	

[注意事項]

通常、加害者本人から念書を徴することとなりますが、加害者が業務執行中の場合には、車両の運行供用者(事業主等)から念書を徴してください。

また、加害者が未成年の場合は加害者の親権者から徴してください。

なお、加害者に代わって、加害者加入の保険会社で念書を作成するケースもあります。